

地方創生事業地方創生先行型に係る評価

交付対象事業名称	事業概要	実施内容	事業費	重要業績評価指標 (KPI)			評価および今後の方針
				評価内容	目標値	実績値	
総合戦略策定費	自然溢れる農山村である本村の地域資源を活かした雇用の創出や人口減少に対する対策等を講じるための「椎葉村総合戦略」策定に関しての会議等の実施	総合戦略案に関する、外部有識者を含む検討会の運営費（報償費、旅費、委託料）	2,770,460				
移住・定住促進事業	椎葉村では過疎化、高齢化による人口減少が著しく集落機能の維持に支障を来し、人口減少対策が急務の課題である。また、自然溢れ、神楽などの伝統芸能など歴史的な魅力も多い。こうした情報のPRや住居等の移住環境整備を行い、UIターンへの移住・定住促進を図る。	移住促進のためのPR： ・移住向けパンフレットの作成	695,000	移住相談件数	20件	57件 (内訳) 移住相談会による相談：52件 電話相談：4件 窓口相談：1件	人口減少が著しい本村において移住政策は重要なものであり、積極的なPRは効果が生じている。しかし、実際に移住するにあたっては現地に赴きその地を知る事が必要であるが、交通アクセスや滞在施設の確保について改善が必要であり、こうした点も合わせて取り組んで行く必要がある。
		住環境整備： ・家屋改修に対する助成 移住・定住を目的とした家屋の改修に対しての助成	3,972,000				
農林業育成事業	農林業者の高齢化が進み、森林の手入れや農地の耕作が困難となってきた。こうしたことから機械導入を図り、作業効率化を行い、森林整備や耕作放棄地の解消を図るとともに担い手の育成に繋げる。	規模拡大を図る林業者（個人を含む）の林業機械導入に対する助成	7,090,000	林業従事者の増加	3名	4名	農林業の担い手の育成は喫緊の課題であるが、一方では新規の林業事業体の設立や農業産業の順調な伸びなど希望の持てる点もある。こうした産業の支援と合わせて移住促進を取り組むことにより、担い手の確保に効果が生じると思われるが、農林業は初心者にはハードルが高い産業であるため、学ぶ場を確保し、入り込みやすい環境を創ることにより、その効果が促進されると思われる。
		農作業受託を行う者（個人を含む）への機械導入に対する助成	3,091,000	農作業受託件数の増加	5件	15件	
特産品販売促進事業	椎葉村には多くの特産品があり、インターネットを通じての販売も行っているが、その魅力のPRやホームページの掲載手法を改善し、特産品の販売強化を行い、産業の振興を図る。	特産品の販売強化 特産品のパンフレットの作成及びホームページのリニューアル	2,068,000	特産品販売ホームページのアクセス向上	5%	-2.6% (2月末時点)	本村には自然からの産物や昔から培われた知識、技術による特産品が多くあるが、生産者の高齢化により、生産が出来なくなっているものも出てきており、その伝承が課題となっている。世界農業遺産などで関心が高まる一方でこうした課題に取り組み、一定の所得と技術の継承が図られる体制の構築が必要である。
				特産品の販売額	2,000,000円	1,964,470円 (3月7日時点)	
観光振興事業	椎葉村では自然や伝統文化と行った地域資源を活かした着地型観光に取り組んでおり、住民を含めたプロジェクト会議により、実施対策を進めている。こうした取り組みとそれにより出された整備事業を一体的に実施することにより、新たな観光誘客を図る。	・観光プロジェクトの活動	1,766,350	観光プロジェクト会議の実施	4回	5回	観光分野においては、住民を中心としたメンバーによる観光プロジェクトでの自立した観光協会を目指し、旅行業の取得や、日本版DMOの認定など、その基礎が出来つつある。今後、観光協会を核とした自立した観光産業を構築するため、交通アクセスやマンパワー不足などの課題に取り組んで行く必要がある。
		・外国人旅行者に対応する観光案内板の整備および既存観光トイレの身体障害者対応など使用に関しての問題点調査及び改善策の策定	4,017,000	観光客数	102,000人	103,000人	
少子化対策事業	過疎化による子ども人口の減が進んでいるため、結婚対策を行い、子ども人口の増を図る。	・婚活イベントの実施	800,000	婚活イベントの実施	1回	1回	環境的に出会いの場が少ない本村の若者に対してこうしたイベントを積極的に開催する事は結婚対策として必要な事であり、実施に対しての成果も見られる。今後もこうした場の提供を継続して行く事が必要である。
				カップル成立数	3組	6組	
地域創造探求事業	椎葉村の在住の若者と移住者が地域資源を見つめ直し、発見することで、これからの未来に必要なモノを見だし、新たな起業の可能性を探り、新たなUIターンの促進を図る。また、こうした取り組みにより、自主的に地域活性化に取り組む人材および組織の育成が図られる。	議論および研修をプロデュースするための業務に対する委託料および旅費	3,995,000	協議および研修会の開催回数	5回	10回	これからの担う若者の地域づくりの意識醸造と機会創出と移住者からの目線による意見を聞くことによるアイデアの掘り起こしと、移住者が椎葉村の事や人を知るための場として開始し、自らの思いや取り組みたい行動が明らかとなった。今後はこれを実現させて行く事で更に活発化し、広がりが出る事が期待される。平成28年度はその継続と、中学生をターゲットとした取り組みを新たに行う事を計画している。
				2020年時点の移住者数（2015年度以降）	20人	3人 (H28.3月時点)	
			30,264,810	←うち交付金交付額 29,674,000円			